

口頭④

薬業連携に向けての第一歩 ～疑義照会の円滑化～

武蔵小杉店
○入澤 将人

【目的】

疑義照会にかかる時間を短縮するため、近隣の薬局と協力し、新たな疑義照会方法を提案する。

【方法】

近隣の薬局と疑義照会方法に関する意見、要望のすり合わせし、新たな方法を検討
病院薬剤部との話し合いの場を持ち、新たな方法を提案

【結果】

提案した方法は、病院と近隣の薬局だけとのやり取りではなく、より広範囲な地域の視点で考えるべき問題であるとの結論に到り、今後も検討していく事になった。
一連の取り組みにより近隣の薬局、病院薬剤部と密に連絡を取り合い、お互いが顔を把握できるようになった。

【考察】

近隣の薬局、病院薬剤部とのやり取りを通じ、様々な意見を聞くことが出来たのは、収穫である。
薬業連携の基盤は出来たと考える。今後は、地域包括ケアシステム構築が必要となる。積極的に他職種との連携を実施し、地域医療に貢献していきたい。